

萩藩校明倫館創建300年記念



第17回

全国藩校サミット萩大会

協賛金募集趣意書

萩・明治維新150年祭

2019 NEXT

■全国藩校サミットとは

江戸時代の藩校教育を現代に生かそうという趣旨で、一般社団法人漢字文化振興協会の主唱により、全国の藩校残る各地域が持ち回り、平成4年から「全国藩校サミット」を開催してきました。第17回目となる本サミットは、萩藩校明倫館創建300年を記念して、この「萩」の地で開催されることとなり、山口県では初めてとなります。2017年からの3年間にわたる「萩・明治維新150年記念祭」のフィナーレを飾ります。

【萩大会の概要】

○開催日時：令和元年11月30日（土）～12月1日（日）

○開催場所：萩市民館大ホールほか

○内 容：

11/30 藩主会議、藩校会議（関係者のみ）

全国藩校サミット萩大会（誰でも参加できます・入場無料）

→オープニング～山口県指定無形文化財「御船謡」

記念講演～本郷和人氏（東京大学史料編纂所教授）

参加藩主紹介（全国から旧藩主のご子孫が集結します）

萩の子どもたちによる文化活動披露

12/1 エクスカーション（関係者のみ・毛利家縁の地を巡ります）

■萩大会開催に関する協賛金のお願い

この萩の地では、多くの先達が藩校明倫館で学び、日本の近代化に尽力しました。「令和」という新しい時代を迎えた中で、今日まで連綿と受け継がれている萩の藩校教育の精神を志教育の推進につなげていくこと、さらには、未来につながる教育施策の展開のためにも、「全国藩校サミット萩大会」は、市民をはじめ、多くの方々が教育について考え、これからの地域づくり、まちづくりを進める上で、必ずや有意義な機会になるものと信じております。

現在、本大会の成功に向けて、市内外の企業・団体、個人の皆様のご支援、ご協力をお願いをさせていただいているところです。

昨今の厳しい経済状況の折、誠に恐縮に存じますが、何卒、萩市の人材育成への取組み及び本大会開催の趣旨をご理解賜り、皆様の格別のご芳情をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

第17回全国藩校サミット萩大会実行委員会
会長 毛利元敦（長州藩毛利家当主）

記

1. 内 容：第17回全国藩校サミット萩大会の開催支援

※大会の広報・啓発活動、準備・運営等に係る経費として活用させていただきます。

2. 協賛申込：1口につき1万円

※企業・団体様におかれましては、5口以上の協賛をいただくと幸甚に存じます。

※別紙の「協賛金申込書」にてお申し込みください。

3. 入金方法：現金または指定口座へのお振込

4. 募集期間：2019年11月末日まで

■ご協賛された方への特典

ご協賛いただきました企業・団体、個人の皆様には金額に応じた下記の特典をご提供させていただきます。

- (1) 大会広報制作物への掲載
- (2) 大会記念誌への掲載
- (3) 大会会場、関連イベント会場等での掲示パネル等への掲載

※上記(1)～(3)は金額により大きさ等が異なります

- (4) 会場内でのPR・物販関係ブースの設置
- (5) 協賛者の広報制作物への大会支援呼称の使用
- (6) 萩市内有料文化財施設共通入場券と大会記念萩焼を進呈



大会記念品「吉田松陰先生直筆・令和萩焼」

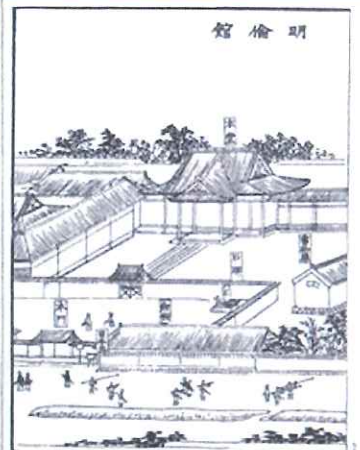
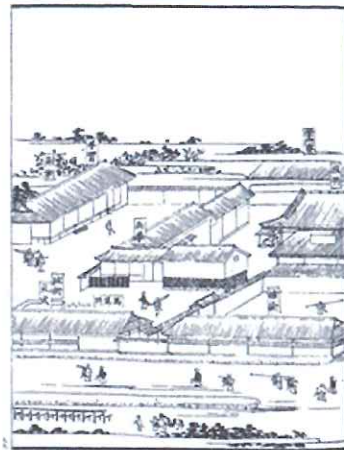
※藩校とは

江戸時代に、諸藩が藩士の子弟を教育するために設立した学校であり、全国的な傾向として「文武兼備」を掲げ、7～8歳で入学して第一に文を習い、後に武芸を学び、14～15歳から20歳くらいで卒業しました。

教育内容は、四書五経の素読と習字を中心として、江戸後期には蘭学や、武芸として剣術等の各種武術が加わりました。

全国で最初の藩校は、岡山藩校で1669年設立といわれています。多くは1700年代中頃に設立され、幕末には300校近くあったそうです。

藩校は廃藩置県後廃止されましたが、学制発布後の中等・高等諸学校の直接または間接の母体となり、藩校で養成された人々が明治維新後の近代日本を建設する中心的な役割を果たすこととなります。



協賛に対するお問い合わせ

全国藩校サミット萩大会実行委員会事務局（萩・明倫学舎内）

〒758-0041 山口県萩市江向602 TEL0838-25-3569 Eメール：meirin-g@city.hagi.lg.jp

ご協力いただきました皆様の個人情報等は、適正かつ厳重に管理し、受領書発行や事務連絡等に使用させていただくもので、それ以外の目的で使用することは、ありません。

第17回全国藩校サミット萩大会



を応援してください！！

萩藩校明倫館創建300年記念

この萩の地では、多くの先達が藩校明倫館で学び、日本の近代化に尽力しました。「令和」という新しい時代を迎えた中で、今日まで連綿と受け継がれている萩の藩校教育の精神を志教育の推進につなげていくこと、さらには、未来につながる教育施策の展開のためにも、「全国藩校サミット萩大会」は、市民をはじめ、多くの方々が教育について考え、これからの地域づくり、まちづくりを進める上で、必ずや有意義な機会になるものと信じております。

現在、本大会の成功に向けて、市内外の企業・団体、個人の皆様のご支援、ご協力をお願いをさせていただいているところです。

昨今の厳しい経済状況の折、誠に恐縮に存じますが、何卒、明治維新胎動の地「萩」の人材育成への取組み及び本大会開催の趣旨をご理解賜り、皆様の格別のご芳情をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

第17回全国藩校サミット萩大会実行委員会
会長 毛利元敦（長州藩毛利家当主）



過去の開催状況

- ▶ 第1回 平成14年（2002年）江戸幕府昌平坂学問所（湯島聖堂）／東京都文京区
- ▶ 第2回 平成15年（2003年）会津藩・日新館／福島県会津若松市
- ▶ 第3回 平成16年（2004年）佐賀藩多久邑・東原厩舎／佐賀藩多久市
- ▶ 第4回 平成17年（2005年）備中松山藩・有終館／岡山県高梁市
- ▶ 第5回 平成18年（2006年）高遠藩・進徳館／長野県伊那市
- ▶ 第6回 平成19年（2007年）庄内藩・致道館／山形県鶴岡市
- ▶ 第7回 平成20年（2008年）熊本藩・時習館／熊本県熊本市
- ▶ 第8回 平成21年（2009年）長岡藩・崇徳館／新潟県長岡市
- ▶ 第9回 平成22年（2010年）松江藩・文明館／島根県松江市
- ▶ 第10回 平成24年（2012年）水戸藩・弘道館／茨城県水戸市
- ▶ 第11回 平成25年（2013年）薩摩藩・造土館／鹿児島県鹿児島市
- ▶ 第12回 平成26年（2014年）忍藩・進脩館／埼玉県行田市
- ▶ 第13回 平成27年（2015年）福岡藩・修猷館／福岡県福岡市
- ▶ 第14回 平成28年（2016年）丸亀藩・明倫館／香川県丸亀市
- ▶ 第15回 平成29年（2017年）加賀藩・明倫堂 経武館／石川県金沢市
- ▶ 第16回 平成30年（2018年）丹後田邊藩・明倫館／京都府舞鶴市